

芍藥亭大人撰

歌萬花集

子丸撰

葛飾
月並
彩色職人畫百題集

g
4320



戲場節用狂歌集

十五日集
廿六日開

判 六樹園大人
者 芍藥亭大人

補 五總御連
助 水魚總連
☆ 總御連

上之巻序文 六樹園先醒
下之巻序文 芍藥亭先醒

甲乙附(紋看板)ありては
あつては御覧しめし
御覧しめし御覧しめし
御覧しめし御覧しめし

巻の上

二 月

日輪	月輪	星	雲簾	雲氣	雨	風	霞
稻毒	雪	雷	三階	中二階	棧板	土間	
人魂	勅使	上使	飛脚	早歩	障子	のり	
○役者	立役	女形	家名	何ぞも	△	△	

四季のあそび

春
夏

多岐乃其の海に遊ばしむるのたまはし
 てこれりしうらふたをいふにほほは
 志らく其のちのむらりては通用言に
 翁天に屋敷乃屋敷ののめりて
 あのはらふ人たむらひて
 多岐あるに其のむらりては
 加めたりとむらりては
 たりりたる目には及ばずと
 たりりたる目には及ばずと

多岐乃其の海に遊ばしむるのたまはし
 てこれりしうらふたをいふにほほは
 志らく其のちのむらりては通用言に
 翁天に屋敷乃屋敷ののめりて
 あのはらふ人たむらひて
 多岐あるに其のむらりては
 加めたりとむらりては
 たりりたる目には及ばずと
 たりりたる目には及ばずと

散末子

七七七 静枝

五八七 道廣

一五七 朝風

七五七 曲成

七八三 直成

七十一 橋立

こころの女のまへに...

髪あはちのまの尾をいへるあめのの聲やうたぬらん 捨負

七八三 糸女

七八五 耕

七 道廣

一 道廣

一 道廣

一 道廣

一 道廣

一 道廣

七 道廣

一 道廣

五 道廣

一 道廣

阿茶屋

庄

江戸

梅の屋

雀子

玉亭

三十七

山あり

えんじ

るの

福あり

有

しる

有

おたまる

松



まはるの男

まはるの男

まはるの男

まはるの男

まはるの男

七十五

江戸

千代の屋

松古



花のさかすかにさかすかにさかすかにさかすかに

五七七 花守

朝風

花のさかすかにさかすかにさかすかにさかすかに

八八七 雅積

里澄

橋澄

言の葉

舞彦

茶廊

花のさかすかにさかすかにさかすかにさかすかに

八八五 雀子

月登

難歌免

深籤

花のさかすかにさかすかにさかすかにさかすかに

十八五 吉住

時

英顔

氷解

五八カ 見わたる花のほろろの香をよみ人のこころもあつち及ゆらん 江戸 松古
 五八八 しろくろの香のまはりのうらみ風はほろろ花の香 日光 思文
 十一一 しろくろの香のまはりのうらみ風はほろろ花の香 江戸 花成君

~~~~~

七五七 田んぼのうらみ 高丸

七八七 しろくろの香のまはりのうらみ 花成

八七七 しろくろの香のまはりのうらみ 春州

五七七 田んぼのうらみ 市成

八七三 しろくろの香のまはりのうらみ 松主

五八五 田んぼのうらみ 春州

十一三 しろくろの香のまはりのうらみ 喜楽

~~~~~

十七五 しろくろの香のまはりのうらみ 保

五八五 しろくろの香のまはりのうらみ 澄

五十五 しろくろの香のまはりのうらみ 音成

七八二 しろくろの香のまはりのうらみ 実老

~~~~~

五五十 しろくろの香のまはりのうらみ 五丸

~~~~~




上毛宮奇
 千本
 竹
 義
 友
 七人
 子
 年



日光
 鳳鳴閣
 思文
 七十三
 山
 松
 竹
 梅
 松
 竹
 梅

出
 高
 筆

珠得身贏集

吾州神主

藪成堂主

全吾未峯主

琴跡舎主

非知菴主

六六 樂亭式主

長春

又如

水蓮

狂歌長贏集

兼 復のくわ

六梅若美

六十三

中歌と木の根よもむして 嬉なうらこの釘か

七十二

ねやうとらゑのさひしきもさすはゆらぬ月とさるか

五十三

なまじりのあつてんち ちのさしとのちのさしとさる

とちあふちかしの葉もさるか かのさるのちやさるん

六十二

たのしの竹よこして ちの葉よまはるちの葉をさる

十八

花よえし 首命とけしう入おの落ししとて ちの虫

八十

梅は川にさる葉のちちちやちちちちちちちちちち

はるのさしちちちちちちちちちちちちちちちちち

ちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちちち

樂笑館 唄雄

下孫 長忍 草基 頼

上毛 里 遠 村

日 蒼松 亭 正 喬

日 文 秋 舎 秀 雄

旭 枝

日 文 風 舎 友 郎

壺 保 樺 里 住

十五十

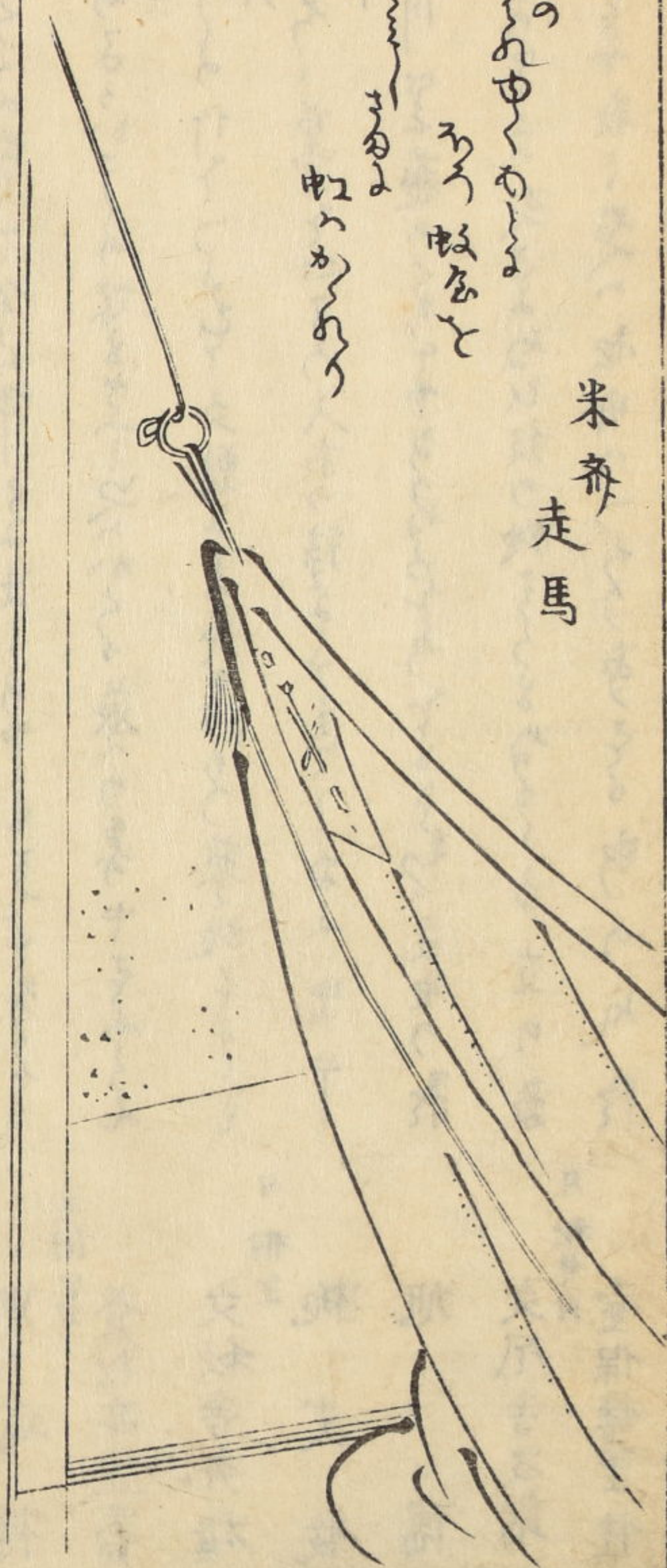
鳴鈴の
たのちのちのち

あうねと

あうねと
あうねと

米舟

走馬



十三十

麻のなと

ほくくよえよ

あをまよ

あをまよ

あをまよ

泉列塚

聴風軒

羊俵



三十五 蓮十三

吹れよ水燈の

さくさく

うきうき

あうまよ

夕立のさく

紀列

若山

南狂子

竜也

十五一

五代とちと正字の

代とちとち

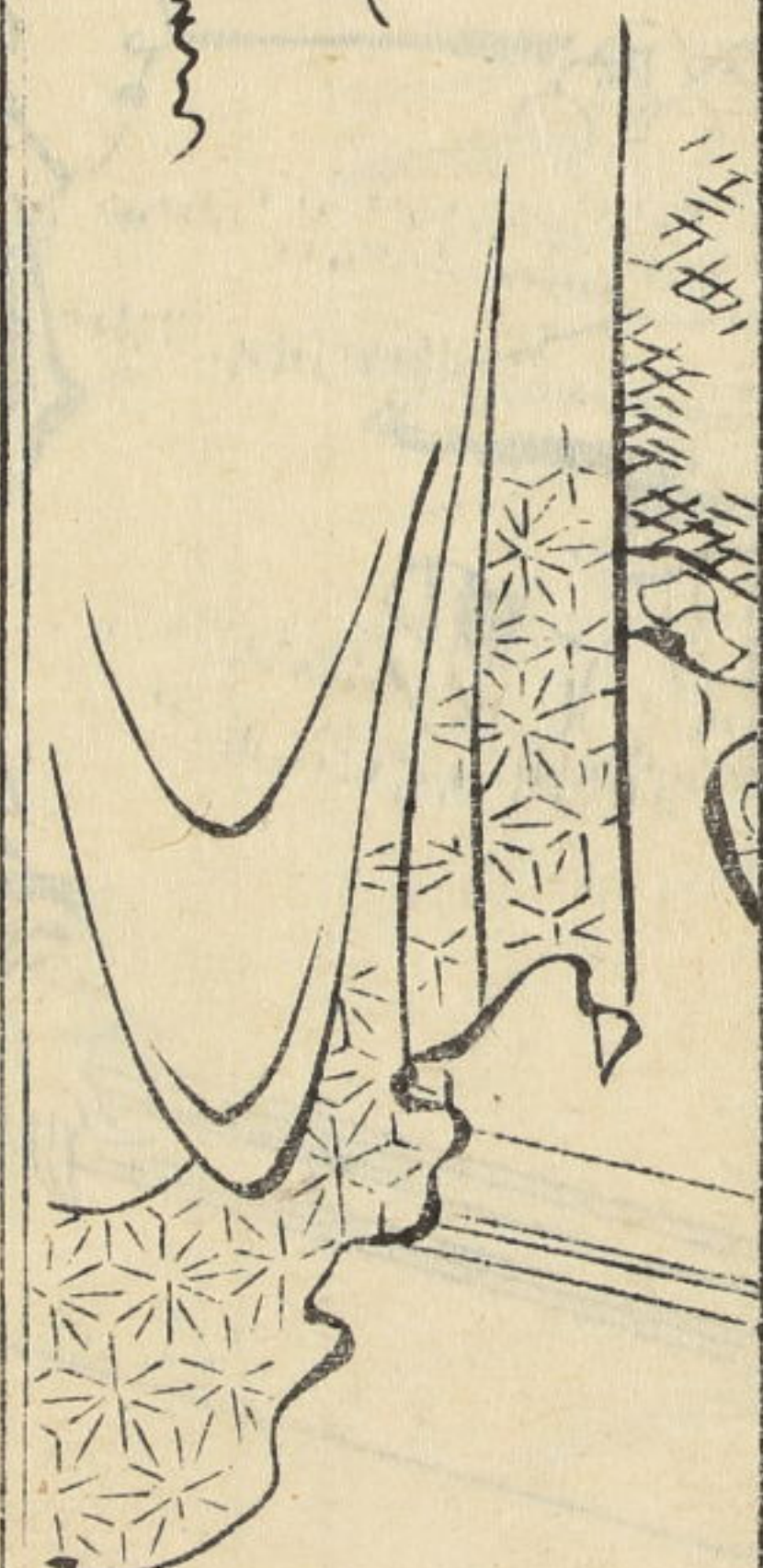
さうのちとち

やうな古物

武列多及五常事

真守

小
三
溪



十三八

白むくの

平の解つたあて

虫平よ

虫平のちとち

まうくさく

幸折箋

十五一

虫平よ

あはきと角力の

摺頁附

りあて羽織の

元住

上毛相生

梧桐林

七十五 昔十五
 七十五 昔十三
 八十三
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



七十五 五老十五 蓮十八
 五車亭
 兔山
 溪

文齋鳥問



十三七

櫻よひ

美楊の梢よ

あゝ桜の

羽よひ

至清堂

捨奥

六十五

あさのあま

たうんふの

志まき

鶯のめり

あやめ

六十五

時き

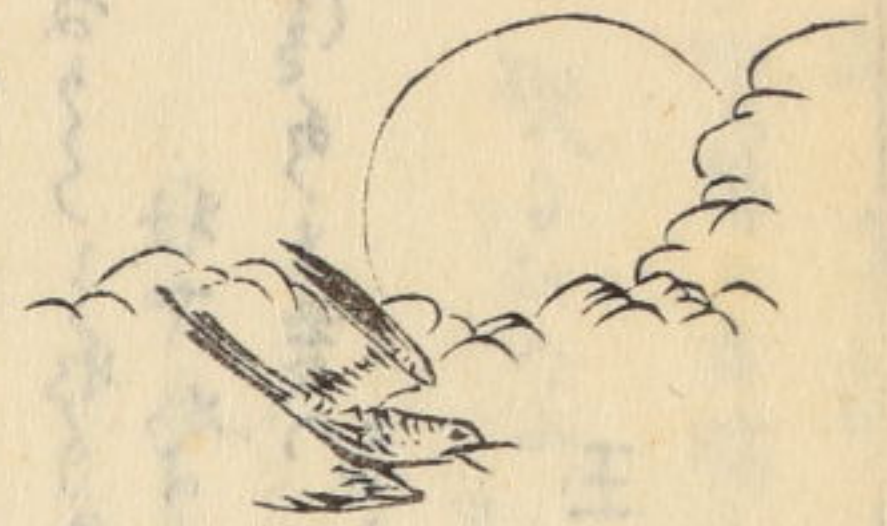
つるね

月の蛙

こやあ

長生

春明



能楽寺
袖丸

十三七
里出

琴樹園

二喜

ひさし

幼布の口

うしろ

うしろ

十五八
招後の
能生舎

あやめ

あやめ

あやめ

八十五 花

春不とあやめ

柳うけ

あやめ

あやめ

紀別巻山

泥田坊

太記

柳葉園

菅笠



十三八
伊藤 彦
赤東車
可志丸

あきよむらさき
風のちかむらさき

八十三
涼しき
何れも 巖の竹まき
琴の松舎
綾重

まよと下
川原の青



文齋

八十三
ふけい
花咲菴
米守

あうさき
あうさき
細穂祥

七十三
五老十三
夏のあの花火のまき
つらな
つらな
つらな
月の裏枯

梅
静枝

八十三
圓栖人のくちま
地いちこ
至情堂
捨奥

十
ふありやまの月の出
のそまの音のちやう
節松嫁



千代の存松古
 栗岡白土
 旭松堂宇路
 五車辛龜山
 神田居志鳥
 夏 所
 かぬ
 内 成
 會公考道列
 二 喜
 ねぬ

千代の存松古
 栗岡白土
 旭松堂宇路
 五車辛龜山
 神田居志鳥

壺宴梅花豊
 不二車音立音
 依山年三在丸
 嶽之册峯山
 龜玉堂龜玉
 連日居梅負
 雄風令梅細
 下毛日光
 三界堂無音
 時人身夜樹
 一節岡竹丸
 松林令志丸
 摩若子本也

千代の存松古
 栗岡白土
 旭松堂宇路
 五車辛龜山
 神田居志鳥
 夏 所
 かぬ
 内 成
 會公考道列
 二 喜
 ねぬ

壺宴梅花豊
 不二車音立音
 依山年三在丸
 嶽之册峯山
 龜玉堂龜玉
 連日居梅負
 雄風令梅細
 下毛日光
 三界堂無音
 時人身夜樹
 一節岡竹丸
 松林令志丸
 摩若子本也

ハハ
夕立よちのて涼しや帷子のと後の蚊の拍をおしせよ
手あしむ卯花垣の影しせよ隣の庭の耳をあしり
ひま柳の枝うりまう涼かよ思ふてあしり
立後ののちしよ次十の松葉をいふはけと流さ中
白雲の玉をあしめぬのよよ掛ひしり道の傍
このうらひこの指の月形もなうそかくしり
つよしり花よ流てききてんる木のうけのよよ
さるの枝よなうして手おの神をぬやをさるの山
三夏あのももひんはよあしりしりぬてひま
水よよくあかあうちあやあしりんる
もこのうらひしりしりしりしりしりしりしり
卯のちの枝よまうしりしりの女を月の中さる
史りしり

狂帷子文丸
二 喜
かろしり
にぬしり
郎松城
おぬしり
一樹園新芳
久 在 言
文待機待細
柳雲園若葉
右風令文中
長生鼓春明

馬の尻尾よのちの木のよよ花よまうしりしり
はしりしりしりしりしりしりしりしりしり
ひんあしりしりしりしりしりしりしりしり
はしりしりしりしりしりしりしりしりしり
花のよよあしりしりしりしりしりしりしり
花のよよあしりしりしりしりしりしりしり
入あしりしりしりしりしりしりしりしり
花のよよあしりしりしりしりしりしりしり
このちのあしりしりしりしりしりしりしり
あしりしりしりしりしりしりしりしりしり
花のよよあしりしりしりしりしりしりしり
花のよよあしりしりしりしりしりしりしり
むしりしりしりしりしりしりしりしりしり

日光
志は枝
橘樹園早苗
凌波亭飛鳥
枕流亭玉舎
鶴巢居三枝
鳳鳴閣鳳鳴
百 雄
峯 山
重堂ま弓
下弦
夷 坂 香
サカヒ
有 武
ワカ山
橘 葉

三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十

月守丸
旭下風
陽
蓮池堂教子
おぬしく
杜逸志仲貫
花
守丸
曳松綱女
杉廻門
基井携清澄
祀る

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十

琴連令英登
親芳
乃文
林藤村道
五老峰隱栖
おぬしく
玉倉
南亭月池
玄直神書
旭堂
静窓桂
十代田房松崔

月影のまるとせかひて夕ぐれよ松の枝をる縁もやう火
燈の名のその樹のまをりてあつぬり春の今の一のひ花
まよりちりちりむしる方角の卯木の木の月をたうる
あつきの麻よよめはとてまへは向くやうかへは餅
ひえの花か後のあひひまをりてあつぬり春の今の一のひ花
のまよちりちりむしる方角の卯木の木の月をたうる
かへひのあつぬりちりちりてあつぬり春の今の一のひ花
り灯とやけをよりの葉のまをりてあつぬり春の今の一のひ花
木の下のまをりてあつぬり春の今の一のひ花
おるまて葉のあつぬりちりちりてあつぬり春の今の一のひ花
月とまをりてあつぬりちりちりてあつぬり春の今の一のひ花
まへは向くやうかへは餅

谷 住
末 長
花噴亭春岑
ねま
吾仕軒折安
米花僕垣守
噴堂伸丸
千 條
宝珠園松平
管清居兼後
寛并殿臣
松 雀

茶の王の松朝よあつぬりちりちりてあつぬり春の今の一のひ花
まよりちりちりむしる方角の卯木の木の月をたうる
あつきの麻よよめはとてまへは向くやうかへは餅
ひえの花か後のあひひまをりてあつぬり春の今の一のひ花
のまよちりちりむしる方角の卯木の木の月をたうる
かへひのあつぬりちりちりてあつぬり春の今の一のひ花
り灯とやけをよりの葉のまをりてあつぬり春の今の一のひ花
木の下のまをりてあつぬり春の今の一のひ花
おるまて葉のあつぬりちりちりてあつぬり春の今の一のひ花
月とまをりてあつぬりちりちりてあつぬり春の今の一のひ花
まへは向くやうかへは餅

伊勢小祿
廻形令早素
春松楼久丸
松授園吉寿
鱸 馬
華
元 右
若山
おめ
新 也
走
米 守

二六八
ついでにせし四のりやうのさるるよりおしほしほしとるんち

七十七
ふしほのぬの影ににんたに田子のさうの肉桂の管や時とるる

和縁とらひてさる三十一懐三十一の影のさるの影とるる

るさるのさるの影の影とるる九十九影とるる

あしとるる十三とるる十三影とるる

さるる十三とるる十三影とるる

あしとるる十三とるる十三影とるる

さるる十三とるる十三影とるる

あしとるる十三とるる十三影とるる

さるる十三とるる十三影とるる

あしとるる十三とるる十三影とるる

さるる十三とるる十三影とるる

あしとるる十三とるる十三影とるる

さるる十三とるる十三影とるる

あしとるる十三とるる十三影とるる

さるる十三とるる十三影とるる

類笑亭裡行

蝶遊園

捨道

由道

竹葉亭村里

笠成

花月亭麻姑

轡

長丸

月廻亭清凡

文月亭程馬

新柳園春風

積善亭喜多留

未好堂英

壺亭松風管

杞るる

琴吹亭万寿人

松月亭芳晴

星月亭実吉

笠人

便彼亭淡綱

新柳園春風

積善亭喜多留

未好堂英

壺亭松風管

杞るる

琴吹亭万寿人

松月亭芳晴

星月亭実吉

笠人

便彼亭淡綱

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

六六

卷十五

能楽寺

便々周々

石文

一

六

守

伸

東

世話内子

文

香

摘

花

枝

捨

一

系

捨

魚

文

好

文

居

未

聖

一

馬

捨

魚

節

松

嫁

限

拙

道

文

成

敬

成

道

成

成

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

六六

五十一 夕立のれみきり五十三

鶯とつらふ五十五

ふとがくろく五十四

夕立のつらふ五十四

今一か五十五

よのひ五十三

ふゆの五十三

夏の花の月五十三

さしや五十三

なま五十三

何五十三

あま五十三

千樹園逸枝

千本

香杉

升成

由裕崗

西来居

名あり

小縁

暖及

反故堆跡成

おる

一十五 海軍の野辺の年五十三

百合の花五十三

鯉つ五十三

さき五十三

八五十三

五五十三

何五十三

を五十三

ち五十三

こ五十三

ま五十三

ま五十三

杞ぬ

おな

杞ぬ

かぬ

杞ぬ

かぬ

六樹園

芍薬亭

米守

綾重

隠栖

涼れよ登の一歩も吹ちつて秋のぼろのうつらまはる
手のぼくくして月の出るころ橋舟のかりやまこころを

追加

十八
のろろのよきこととせせせせせせせせせせせせせせせせ
ハハ
待まよあよあよあよあよあよあよあよあよあよあよあよあ
首あひのほほほほほほほほほほほほほほほほほほほほほ
五十二
十七
七
七
かゝるのふきふきふきふきふきふきふきふきふきふきふきふき

教子
折安

六玉園教書

尾列名古を

六撥園家盛

キリフ

常歌本古茂

藍白今前号

初樹園千代成

旭常吉

下毛茶白

鈍て身
勧学亭福良

む〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

何彼
正木勝良
八千代大老

ま〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

フシニ
狂言房兼住
米 ち

さ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

便々
捨 奥

小鼓の穂る古体〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

高砂亭松成
笛風令音有

抱膝するまよがこころして〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

桂
ナコヤ
秘迺弘峯

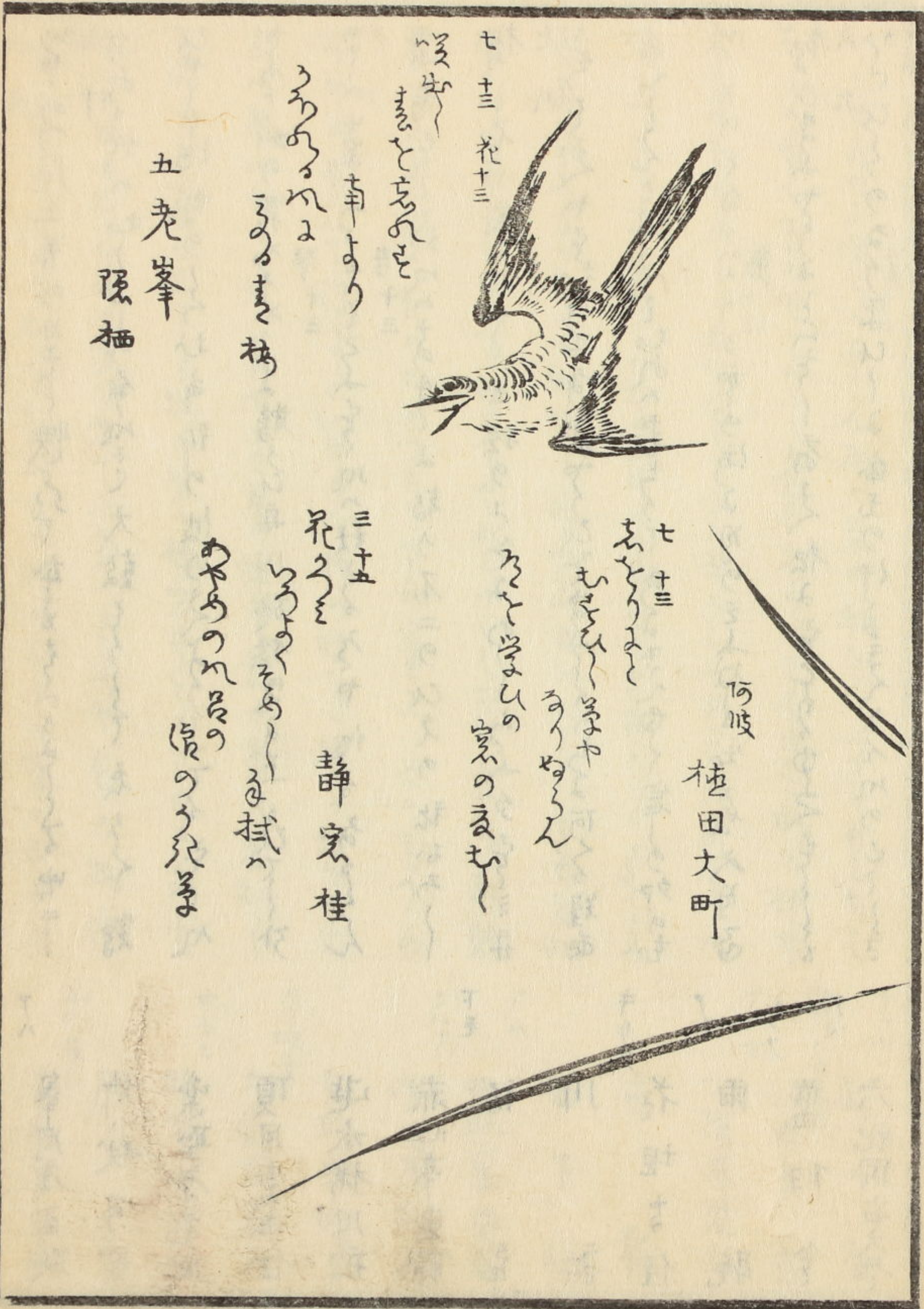
こころの〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

ナコヤ
秘迺弘峯
廉の家名丸

あ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

ナコヤ
平安亭七辻

あ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜



八八
 りやめつた土甲の目そと快ふて本ももくまうする虫一
 五十八
 竹杖月良
 樂聖彦光丸
 頂月堂市住
 遊水梯川船
 赤心亭在幹
 福良
 川船
 花垣在住
 雨晚
 藍白令
 六紀園右大令

五七
 七珍亭塔
 六三病園益久
 晴雪全月丸
 月良
 青面方年系成

五七
 七珍亭塔
 六三病園益久
 晴雪全月丸
 月良
 青面方年系成

五八 大町

七六 瓢箪天曼

六七 壺移棧文書

六八 躰江赤松

六九 蕭夜軒書務

七〇 樹立園香久美

七一 七 過

七二 神田居

七三 千山其百條

七四 釈堂丸記

七五 百 旅

七六 七 過

七七 七 過

七八 七 過

七九 七 過

八〇 七 過

八一 七 過

八二 七 過

八三 七 過

八四 七 過

八五 七 過

八六 七 過

八七 七 過

八八 七 過

八九 七 過

九〇 七 過

九一 七 過

九二 七 過

右文政四年辛巳九月廿日於飯田町宇治橋樓開卷

歌數九五千百十六首
上梓總五百八十一首
作者都六百八十一人

九一 吾十三 釈子

九二 花十三 暗旧令早丸

九三 表十三 樹五岡

九四 連十三 樹五岡

九五 十三 守 茂

九六 花十三 守 住

九七 十一 樂聖菴

會集後の集書

會集

會集後の集書

類聚の字多

會集

會集後の集書

古文類聚
卷之四
上
下



森路園
 秋羅亭
 舟守
 鬼の屋
 紙々亭
 和摺
 宝樹園
 花咲菴
 朱守
 綿木園
 文門
 喜二園
 琴樹園
 專廣亭
 邑人
 芦糸田雀



反故堆跡成
 福通屋
 内成
 縁樹園
 元有
 南亭
 月澄
 岳亭
 定岡
 文樂舎
 高砂亭
 松成
 歌和尚
 青陽館
 梅世

スレ

六樹園先生 兩選
芳藻亭先生

冬之歌

三 十 ばしきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 五 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 八 三 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 七 三 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 五 五 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松

六 六 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 八 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松
 十 十 志しきまは追りく雪も又後の舟八被流やわたの山止み松

七、^十 吐くけさぬ美の國やいぢめんは硯の海のくろくおれる
 八、^八 日本捨鴨を穿んとくろ人のをたかまかくるる大を
 信つと城のなみ時つきてあるこの名はまたるあり香
 十、^六 色糸よりる直統の菊くさぬ跡をさせうひさくお人
 六、^十 むれるおの木のえをよゆ糸を麻のよよむらひをこの山作
 八、^八 ものの毛をむしめておのの門はけをくたしておのの傘
 板屋よりお母のまへにけしむらうたておの自徳のまゆこ
 お川の流のたけつとけさの産木の板の毛をゆめ海せ
 後作はの *Sanso* の *Wan* さまはけしうらぬるうらぬるの
 又まゝるの毛をむしめておのの初の新の香のけし
 香久山よかお時おのものをくたしておのをたかおるよる
 三、^三 おのたかおるよるよるおのたかおるよるおのたかおるよる

東夷菴
 春友亭梅明
 春雨亭技東
 全
 成都良
 太刀廻屋佩成
 春園亭盛
 岳亭定岡
 長友
 緑樹園
 串持園光音
 専廣亭邑友

六、^十 おのたかおるよるよるおのたかおるよるおのたかおるよる
 八、^八 重なる人伝らん答の候もよひおのたかおるよるおのたかおるよる
 六、^十 糸をよひおのたかおるよるおのたかおるよるおのたかおるよる
 切りの茶臼の中よは他田を灰ひたるよのお母の物
 茶せんき入ゆるよをよひおのたかおるよるおのたかおるよる
 秋ふきよをよひおのたかおるよるおのたかおるよるおのたかおるよる
 月花のつむぎよをよひおのたかおるよるおのたかおるよる
 年々おや大の二十日つむぎよをよひおのたかおるよるおのたかおるよる
 六、^十 むらむらおのたかおるよるおのたかおるよるおのたかおるよる
 香よをよひおのたかおるよるおのたかおるよるおのたかおるよる
 一のつむぎよをよひおのたかおるよるおのたかおるよるおのたかおるよる
 さつとつむぎよをよひおのたかおるよるおのたかおるよるおのたかおるよる

福廻屋
 全
 千柳亭
 臨波亭市丸
 及詰樓
 欠車菴
 歌春亭廣樹
 太々亭内保
 平原舎真々
 丹前東雄
 六儀園敷雄
 鼓腹亭實

三 三
 八 八
 六 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

枕持園久住
 歡喜咲園雅權
 八木亭
 夕麗舍盤飴
 不羨人
 星廻屋輝世
 一葉菴船守
 流霞亭真向
 鈍々亭
 琴樹園二喜
 西来居
 花源洞經穂

三 三
 六 十
 七 八
 八 七
 九 六
 十 五
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

全
 梅世
 竜宮城五守
 樂聖菴
 二喜
 梅明
 全
 芳香
 春州園染友
 岸廻屋男浪
 全

五十一 五方の海網をたぐるこも 塔の葉よかゝる海草の魚の雛形

無智廼屋夜床

七十八 さうなとみあるこゝろすてきこの目も海のものもさるる菅のゆ花

枝 東

凡の目も海のもの枝もさうさういふ海草のゆ花

光 音

灯籠の目もさうさういふ海草のゆ花

全

糸をさうさういふ海草のゆ花

緑揚園系長

のこさうさういふ海草のゆ花

緑葵園競馬

くねさうさういふ海草のゆ花

長生飲春明

五十一 そのゆ花のこゝろ中の枝もさうさういふ海草のゆ花

早咲菴梅亭

男の人さうさういふ海草のゆ花

梅屋合茶巻丸

十段のゆ花をさうさういふ海草のゆ花

尋蹤亭

八十七 巨匠のゆ花をさうさういふ海草のゆ花

千柳亭

かたはゆ花のこゝろ中の人さうさういふ海草のゆ花

第月園守丸

七十七 山形ゆ花のこゝろ中の人さうさういふ海草のゆ花

長 丸

和鳳亭系長

七十八 和鳳亭系長

和鳳亭系長

七十八 和鳳亭系長

全

五十一 和鳳亭系長

倭和号舟

全

全

全

森廼屋實老

狂歌菴

狂歌菴

松廼屋松人

松廼屋松人

東 雄

東 雄

全

全

全

全

ハ
七
錦木園文門
八
七
竹籠都草時吉
七
八
三度亭惠義
七
八
千金交春芳
七
八
全
全
梅 明
柳水亭袖住
柳弦亭唐琴
和鳳亭系長
八
七
全
八
木 亭

雪廻屋早房
不羨人
六帖園
全
全
連々居員棟
和静亭春永
竜樹園千代成
梅窓心賞上居
五光舎占正
夕泉舎鈴繁
二
吉

直道近記 上サチヨ
 金地堂綾土
 晏信草敷成 八日市
 波廻屋雄左丸
 秋籬草菊芳
 森路園繁雷
 行兼合三春
 狂歌 菴 フクミマ
 告戸擗明雷 若小カク
 縁下亭市住
 要義園近住 川コエ
 尚及空寐 サノ
 千路堂 栄
 企 馬
 麟 琴
 實 琴
 唐 琴
 鈴 琴
 錦糸直綾撥
 一樹園影著
 企
 夢 輔
 冬 住
 杉樹園其喜

千路堂 栄
 企 馬
 麟 琴
 實 琴
 唐 琴
 鈴 琴
 錦糸直綾撥
 一樹園影著
 企
 夢 輔
 冬 住
 杉樹園其喜
 直道近記 上サチヨ
 金地堂綾土
 晏信草敷成 八日市
 波廻屋雄左丸
 秋籬草菊芳
 森路園繁雷
 行兼合三春
 狂歌 菴 フクミマ
 告戸擗明雷 若小カク
 縁下亭市住
 要義園近住 川コエ
 尚及空寐 サノ
 千路堂 栄
 企 馬
 麟 琴
 實 琴
 唐 琴
 鈴 琴
 錦糸直綾撥
 一樹園影著
 企
 夢 輔
 冬 住
 杉樹園其喜

ハ
そんは八十八夜うよるいしちの持きあうーとめてら

福々草金成

うれいああねんりは目のうちいんまのまのまのまの

全

親のたまふまのまのまのまのまのまのまのまの

福廻屋

のうらうらうらうの後のまう停縁の留柳と柳とまのまの

国字垣歌変

うれいああねんりは目のうちいんまのまのまのまの

松行園花笠

このあかの丁もあかの下あつてあああああああああ

不羨友

うらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

千柳亭

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

八木亭

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

實

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

糸長

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

全

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

茂葉

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

鯉

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

雅楽雄

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

櫻園和佛

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

千船厚丸

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

縁樹園

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

全

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

全

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

千柳亭

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

全

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

男浪

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

南亭

まうらうらうらうのまのまのまのまのまのまのまの

金成

福廼屋 キリフ
 守丸
 鶯店
 金成
 一心亭志丸
 薄垣香成
 歌和尚 八日市
 東巴友 川又
 冬住
 東雄 タカサキ
 麟馬
 時吉

深谷堂 ミヤキ
 浅瀬菴千本
 春菴亭和歌駒
 隨日園勝良
 峯廼屋松彦 大ニク
 関杉村 仙ノ
 袖住
 影芳
 梅香合珍馬 ミト
 鈍々亭
 六帖園 タカサキ
 橋立

六
まづのしをまげた服の指を捨ててわが身をまづの草の根と
かゝるちとまづのたき草の山をみるにやまゝまづののち
七
のちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
八
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
九
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十一
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十二
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十三
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十四
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十五
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十六
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十七
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十八
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十九
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
二十
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち

跡 成
外廻屋福成
盛
八木 亭
真月菴盛益
歌 志 久
全
守 丸
管弦亭別雄
利潤亭富澤苗
三星亭香丸
沓 成

三
神農の嘗のこゝろまづのちまづのちまづのちまづのち
七
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
八
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
九
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十一
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十二
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十三
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十四
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十五
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十六
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十七
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十八
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
十九
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち
二十
まづのちまづのちまづのちまづのちまづのちまづのち

宝樹園提成
壺竹園直丸
養老久滝成
千 本
元 成
栢桐園系挺
繁 躬
全
松 彦
全
市川雅奥
堀川歌成

いづれ歌の火戯場りも顔んやの一番
大鼓とんく其うやう幕いじりひく
けり見負連程言けり。工夫とらと
舞舞。おのいの仕方を中す其趣向
二階のたきまののがりやうごの木の深きを
うかぶきくののくまき。合がりのてんけ
けり。一尚よ名譽の天地をわいす
大でさ大あいののきぬたに跡。とく

大鼓とんく其うやう幕いじりひく
けり見負連程言けり。工夫とらと



大鼓とんく其うやう幕いじりひく



高砂亭松成
十十
ひたちたるそのうと結ぶそ
路考糸の紋もあやうし
こゆる月まよ

白毛舎万守

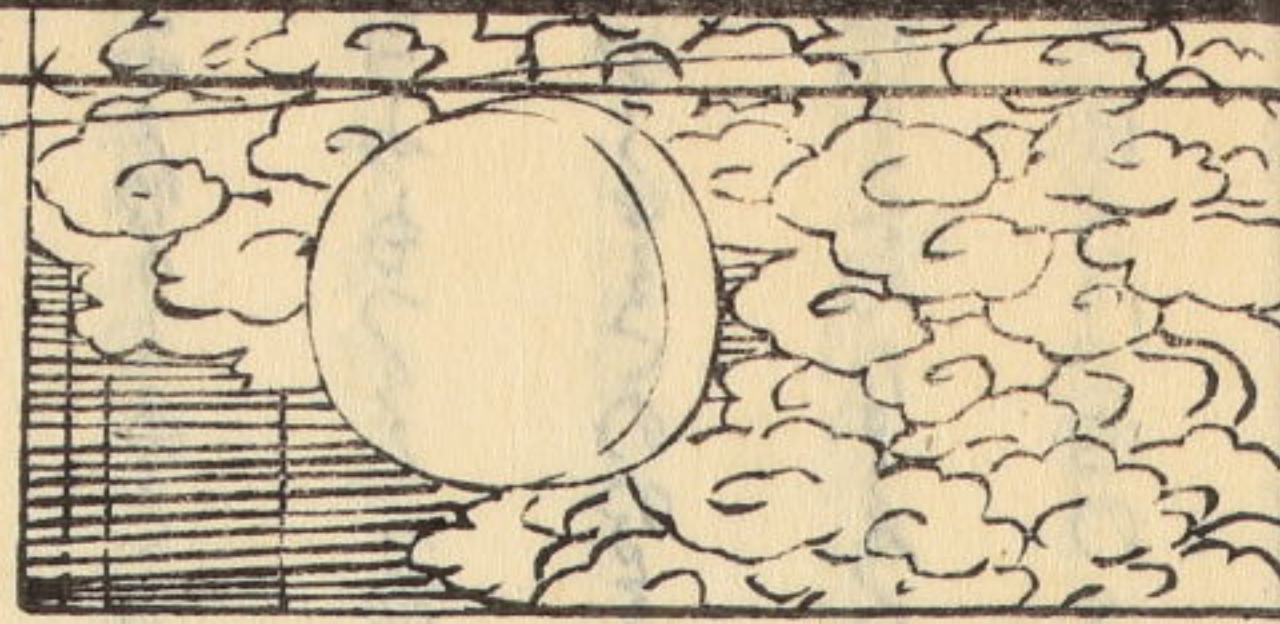
七十
まなまをそよりなか
そららのめいいつこの
むらさね

福延屋

八五
うは紙をそりま
やうなぬまおて
人新うらむ
まのあまき

宝市亭 升成

七十
このま
まのらゆめ
まをつら
月のあま



十 七 歯をそめーせし女房をのりよりいそいであぐなりー 吉の字 ヨシ

五常亭真守

七 十 巻のうへへはくは入江の丹流ういさもつらあすうさるるを ヤ

千柳亭 チヤウ

七 十 園を前とりのくこてあのみき切よさあひあひ月のりそすく ハ

倭和亭守

六 十 ありり所位をすしてりろろしきあゆまのれりすく ナ

龍の屋

六 十 ありろくへ親ふよく ハ

白毛舎万守

ありろくへ ハ

宝市亭外成

目あゆつて ハ

狂奇屋外成

し ハ

全

秋まのなる ハ

青陽館梅世

夕日 ハ

射術因張ら

ハ ハ

万 守

ハ ハ

全

あり ハ

福 通 屋

ね ハ

水鏡亭梅景

ち ハ

若原同徳徳

ち ハ

三寸亭 ハ

ち ハ

花咲菴米守

ち ハ

和風亭国吉

ち ハ

壺月堂市任

ち ハ

夷福亭官守

はまのあまのこくち中三階ゆらここかたをこわしつゝ

鈍々亭

五十一
らるるあまのこくちあまのこくちあまのこくちあまのこくち

和恩亭系長

こまこまらるるあまのこくちあまのこくちあまのこくち

梅景

つらつららるるあまのこくちあまのこくちあまのこくち

三宝亭陶

あまのこくちあまのこくちあまのこくちあまのこくち

堪忍令二字亭

八七
降るるあまのこくちあまのこくちあまのこくち

鈍々亭

ゆらゆららるるあまのこくちあまのこくちあまのこくち

苑圃車藤馬

あまのこくちあまのこくちあまのこくちあまのこくち

全

梅うらららるるあまのこくちあまのこくちあまのこくち

芦原田鶴

あまのこくちあまのこくちあまのこくちあまのこくち

西 未居

狂言の仙まを秋の夜庭場ハクせんつゆ目よををわらん

和静亭春永

あまのこくちあまのこくちあまのこくちあまのこくち

倭和彦守

形もそのおむる内重おけ武者のせんつあひつり合のてる

万守

七八
月のおのうたむ帽子のりやめり風をさるるぬまのり

全

とう空はまると柱のねこまをたかむつらつたの重子

負琴橋根松

人のめとあめんたあめんのらあめんのらあめんのらあめんのら

五柳園

まじりれや柱のまじりれや柱のまじりれや柱のまじりれや

串珠園光音

正面のたのちまやちまやちまやちまやちまやちまやちまや

和洞亭春永

一十三
付ぬまのせむおあかたり舟うらららるるまをさるるこくち

五柳園

八六
日のうらららるるあまのこくちあまのこくちあまのこくち

春 永

三十八
ふしはらやあはもあのあしあ子
ぬらこあふんちかしのあまあ
あま

和風亭
系長

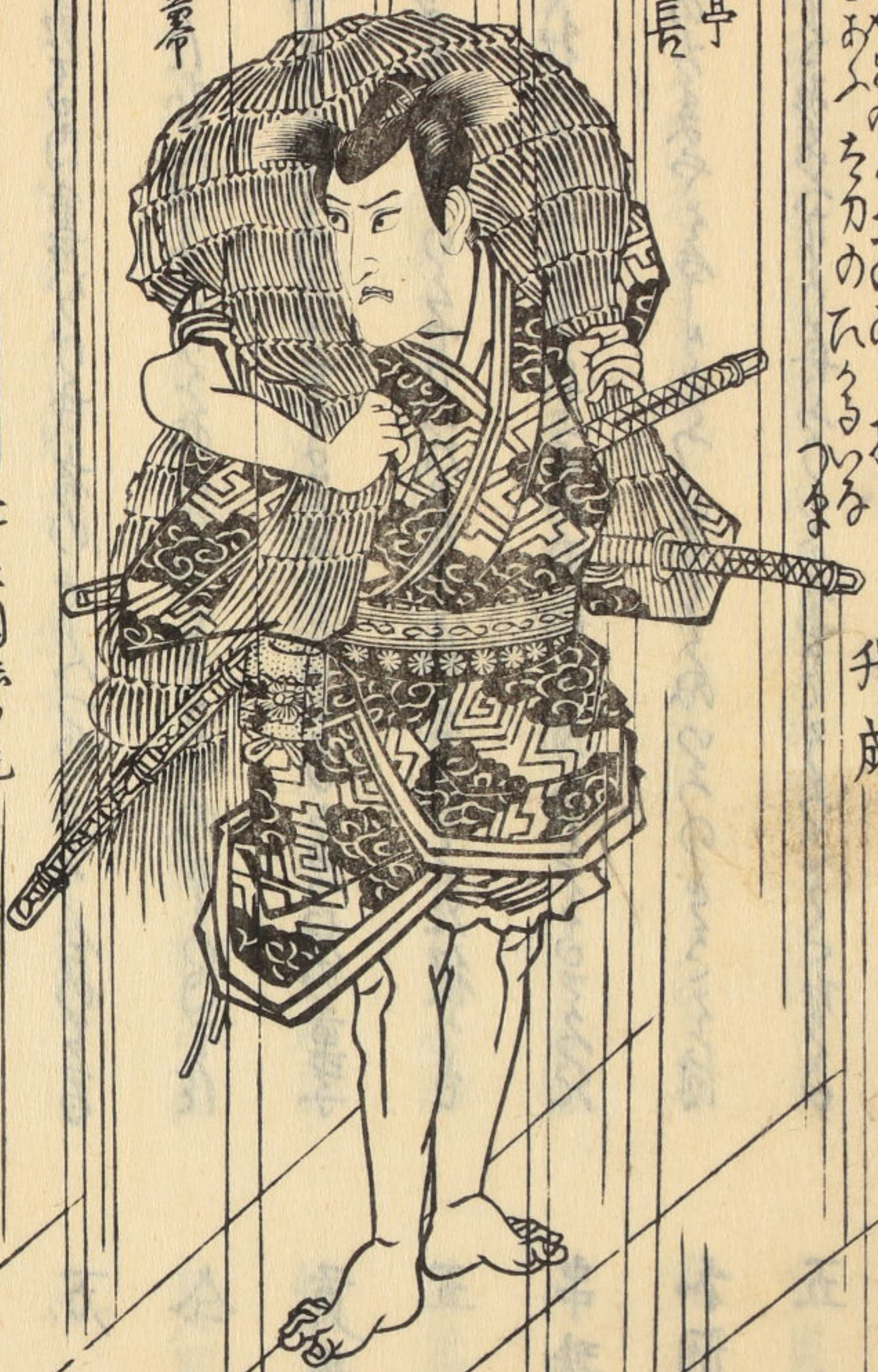
三十七
あまの

夕立
あて

つとまの

あまの

あまの



升成

玉垂画

三十七
新泉園蔵丸

三十九
ふしむすし石破となまのちかあ
まああああああああああ



六十一

うらうら

あまの

あまの

松成

三本

あまの

あまの

七十

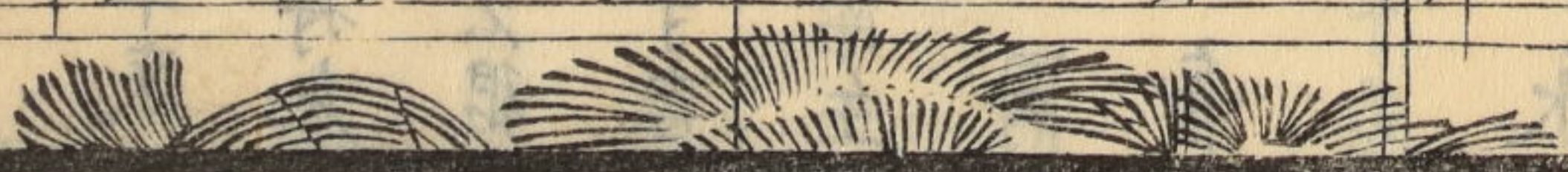
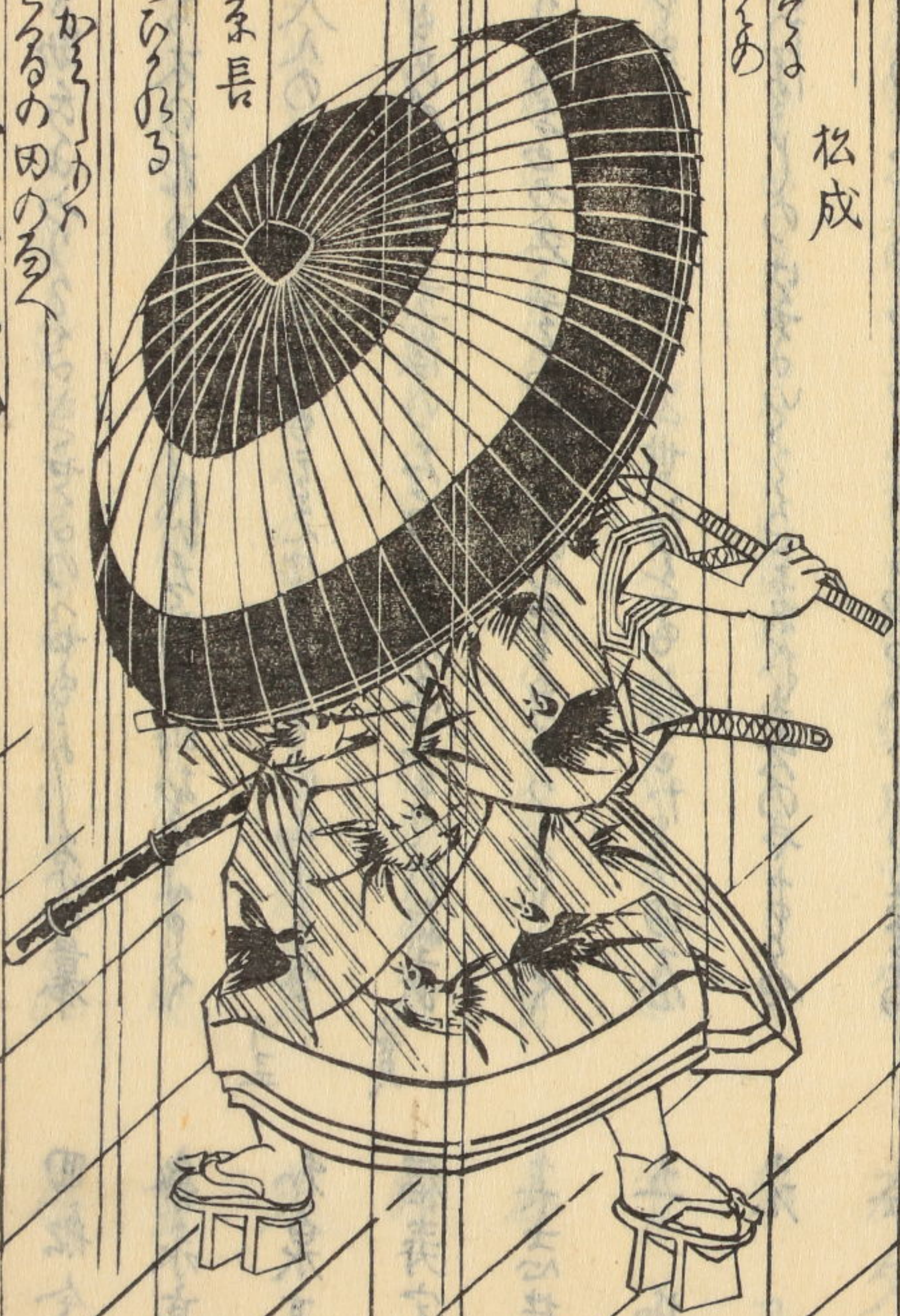
系長

ぬらあああああああ

あまのあまのあまの

あまのあまのあまの

あまのあまのあまの



八
六
ゆるる月のなむさうあつるく鹿嶋のこむるまのあまみ

新泉園陸守丸

りねみほく助らふうくささるのゆより一京の幕

回船令早来

八
六
るるさうく木のおもうさなり民のた鼓の山あういもく

祭永直持丸

ねさうよく尺八のねみくも竹もこえりりまの山しる

和泉亭岩根

風幕のやもあやなうさ役のた力よたさるさうい箱ま

福寿堂守吉

月と日のおもうさあまや冬さまあまのさもようくしく

在志楼庵主

く紋いれあままの島大の世習をも付るなり田舎

五柳岡

ほくまぐねのほしのはやのさうくまあまのやまを

光音

くんくんのさうのさうくさうく月のおらういさま

全

かあさうさう後者のあやまうくさむ社のうくあうい

春永

力紙がよるたあまいさうくくもあまいさうくくくくく

陶

陰うちの筆中ののさうくさまのさうくくくくく

石文筆成

三階のさうくもさうくさうくさうくさうくさうく

和琴守

七
七
ぬらさるよりのさうくさうくさうくさうくさうく

万守

ここの積まもさうくさうくさうくの田こもさうく

全

らんくもあまのさうくさうくさうくさうくさうく

井成

さうくもあまのさうくさうくさうくさうくさうく

米守

さうくさうのさうくさうくさうくさうくさうく

盡語携

時たのむさうさうくさうくさうくさうくさうく

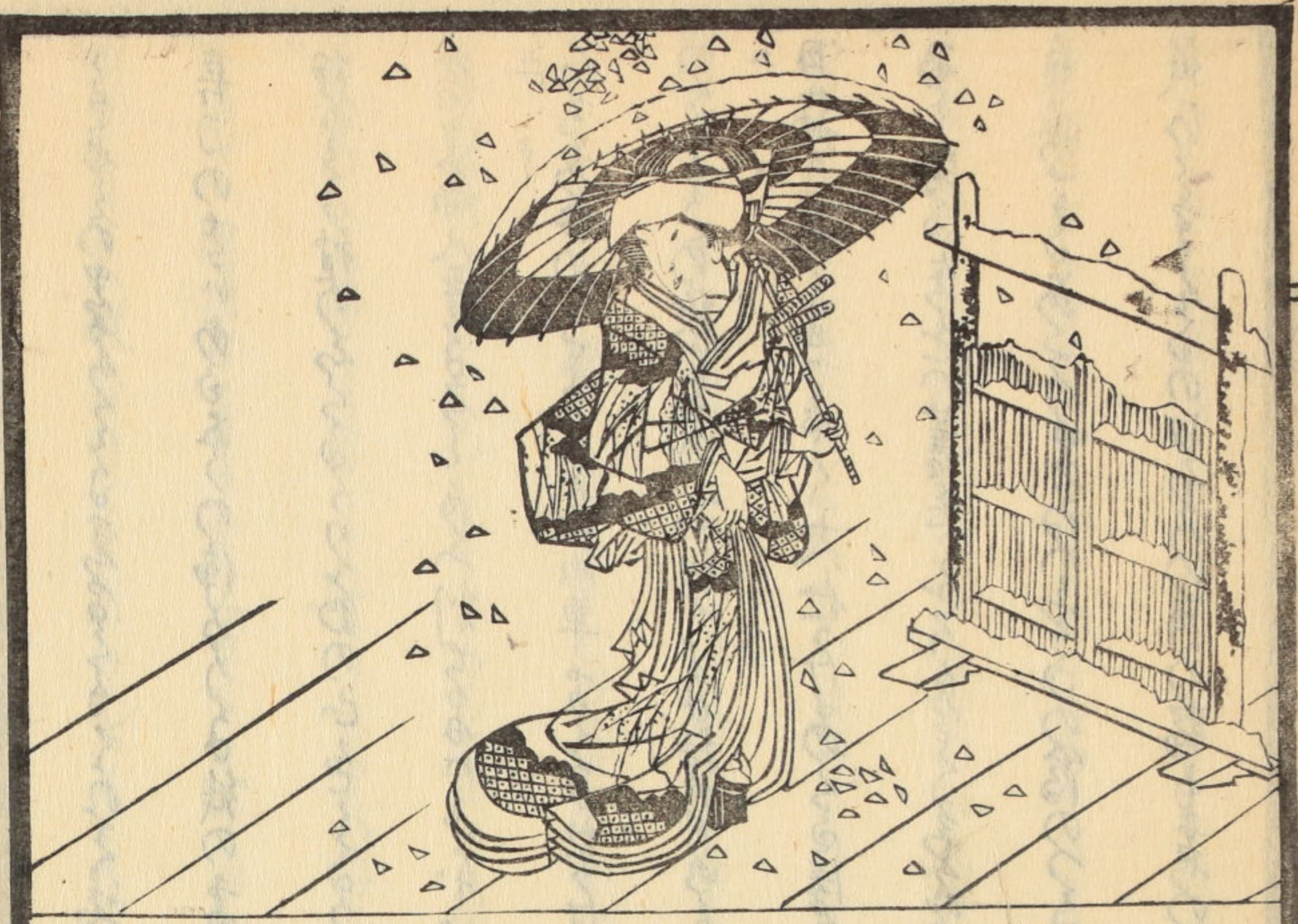
全

さうくさうぬらもさうくさうくさうくさうくさうく

浅桐菴

十七
大島 万守
ぬつとまゝの正作を
まのこれ柱まゝ
お枝よわの
下中が柄中

十八
五位 踏鳥丸
かまの
あまき
似を勅使
はらなるん



三十
福西屋
はらなるん
あまき
かまの
似を勅使
はらなるん

千總蕭齋

大女叶

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

